

令和5年度クリーニング師試験 技能筆記試験問題

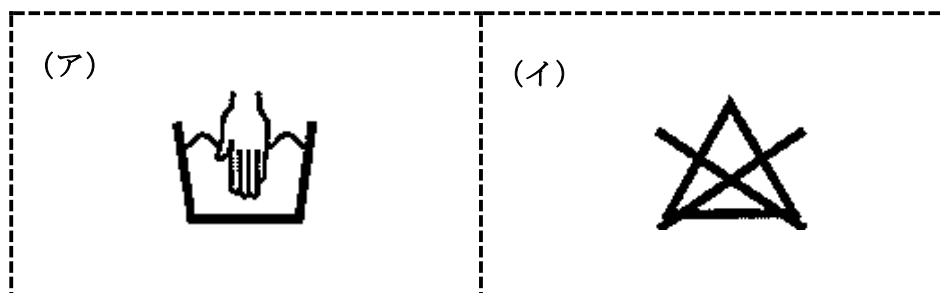
係員の指示があるまで開いてはいけません

(注意事項)

- (1) 解答用紙には必ず受験番号及び氏名を記入すること。
- (2) 試験時間は10分間とする。
- (3) 時間中、トイレ等やむを得ない場合は、手をあげて係員の指示に従うこと。
- (4) 答案作成は鉛筆書き（シャープペンシル可）とすること。
- (5) 文字が不鮮明で読めないときは、手をあげて係員にその旨を告げること。
- (6) 受験中、隣席の者と話をしたり、のぞき見や不正行為のあった場合は、直ちに退場を命ずるものとする。
- (7) 受験票は、名前が書かれた面を上にして、必ず机上の受験番号札の下に置くこと。
- (8) 試験終了後は、受験番号等に記入漏れがないかを確認したうえ、試験官の指示に従い退室すること。

福 島 県

問 1 次の図は、日本産業規格（JIS L0001）で定める表示記号を示したものである。それぞれの表示記号の意味を選択肢の中から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。



〔選択肢〕

- ① ドライクリーニング処理ができない。
- ② 洗濯処理はできない。
- ③ ウェットクリーニング処理ができる。通常の処理。
- ④ 液温は、40℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
- ⑤ 洗濯処理後のタンブル乾燥処理はできない。
- ⑥ ウェットクリーニング処理はできない。
- ⑦ 漂白処理はできない。
- ⑧ 液温は、30℃を限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。

問 2 次の「(A) 汚れの原因となる物質」と「(B) 汚れの種類」を示した5つの組み合わせについて、正しいものはいくつあるか。その数を解答用紙に記入しなさい。組み合わせが全て誤りであると判断した場合は「0」を記入すること。なお、この間における「汚れの種類」とは、水溶性汚れ、油性汚れ又は不溶性汚れのいずれかに区別したものをいう。

ア (A) 糖類 — (B) 油性汚れ

イ (A) タール — (B) 不溶性汚れ

ウ (A) 尿 — (B) 水溶性汚れ

エ (A) 墨汁 — (B) 水溶性汚れ

オ (A) ペンキ — (B) 油性汚れ

問 3 次のシミ抜きに関する文について、それぞれの()の中に入る語句として正しいものを下記の語群から一つずつ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1 漂白剤は酸化漂白剤と還元漂白剤に分類されるが、酸化漂白剤としては過酸化水素、過炭酸ナトリウム、(ア)が使用される。

2 サビ取り剤として(イ)を使用することができる。

[語群] (ア) ①塩化ナトリウム ②次亜塩素酸ナトリウム
③亜硝酸ナトリウム

(イ) ①シュウ酸 ②フッ化ナトリウム ③酢酸

問 4 あなたの前にある繊維を見分けて、その番号を解答用紙に記入しなさい。【繊維鑑別問題】